

経営比較分析表（令和3年度決算）

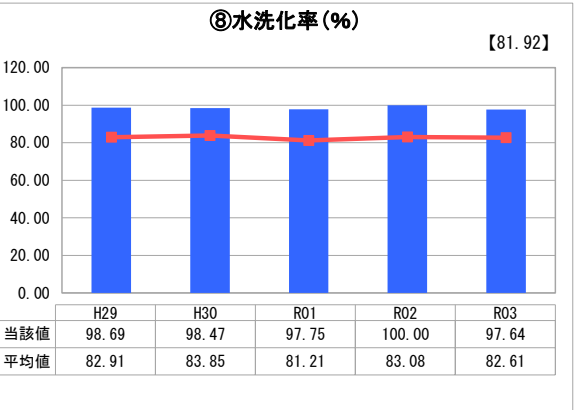
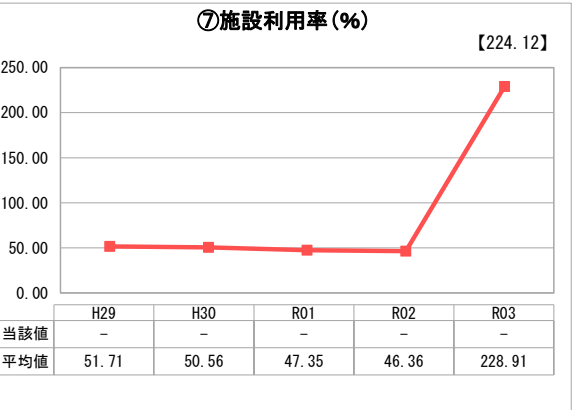
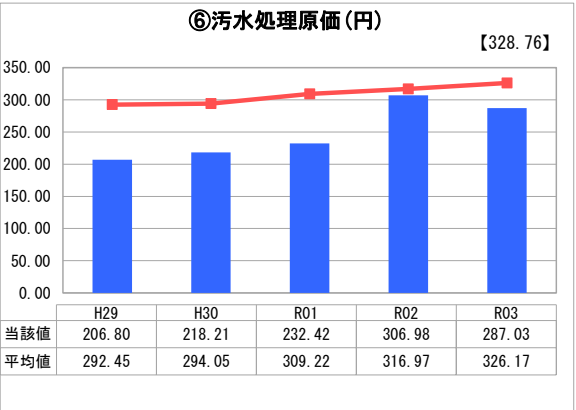
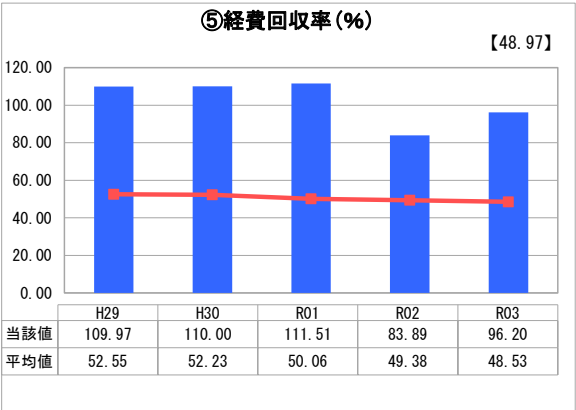
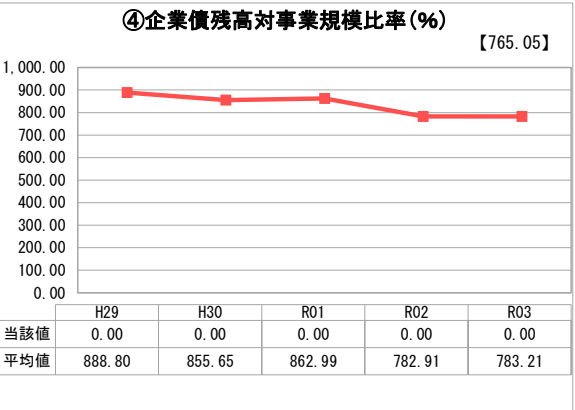
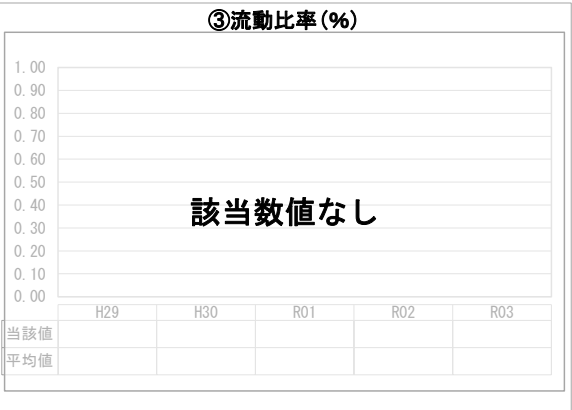
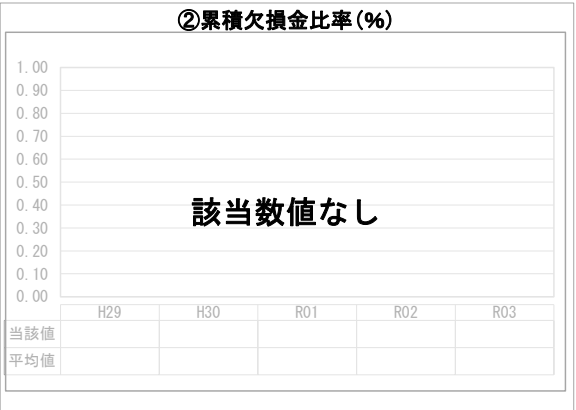
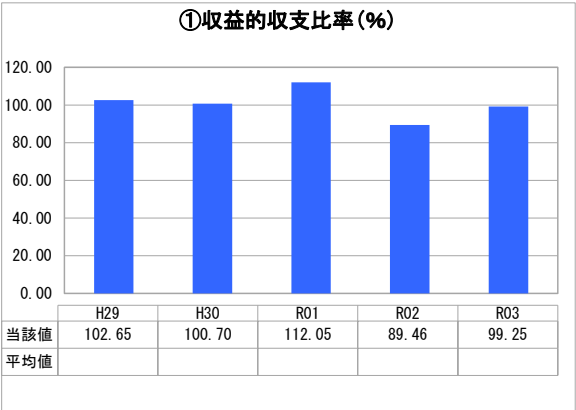
長野県 御代田町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	1.31	100.00	4,620

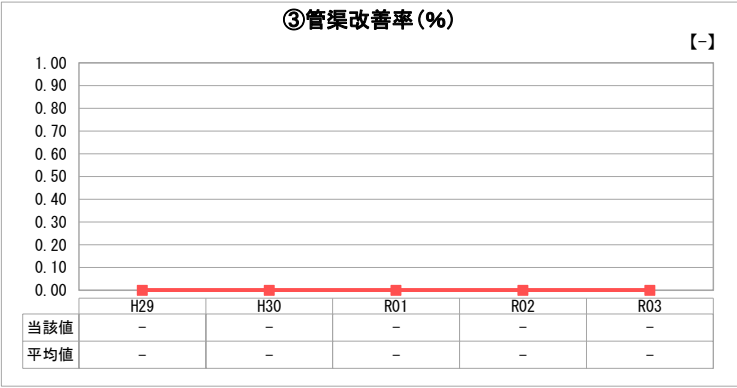
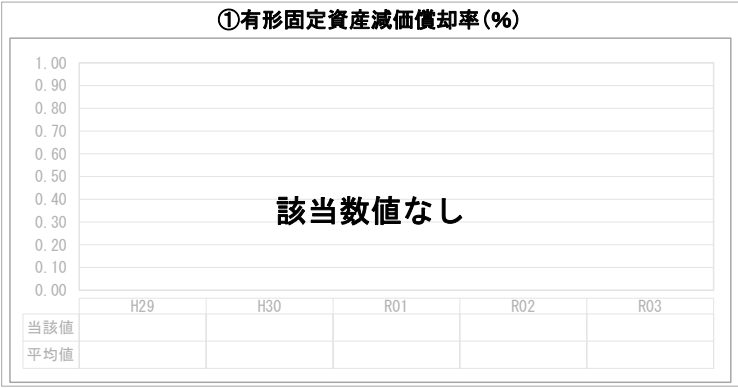
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
16,052	58.79	273.04
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
212	0.07	3,028.57

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

- ① 収益的収支比率
令和2年度と比較すると、維持管理費の抑制によって上昇しています。修繕費が前年よりも少なかったことが要因と考えられます。企業債償還が進んでいますが、今後の維持管理経費の増減によって数値が変動する見込みです。
- ④ 企業債残高対事業規模比率
類似団体の平均値を下回る数値で推移しています。平成29年度からは企業債償還金を一般会計からの繰入金ですべて賄っているため、数値は0となっています。
- ⑤ 経費回収率
経年比較、類似団体の平均値との比較でも、高い水準で推移しています。
- ⑥ 污水处理原価
類似団体の平均値との比較では低い水準であり、処理経費が抑制できていますが、経年比較では変動があるため、今後も維持管理経費を抑制していく必要があります。
- ⑦ 施設利用率
実績がないため、比較検討できません。
- ⑧ 水洗化率
市町村設置型の浄化槽であるため高い水準を維持しています。

2. 老朽化の状況について

個別排水処理施設は、定期的な点検作業と状況に応じた修繕を実施することで施設の延命化を図っていきます。

全体総括

個別排水処理事業を今後も継続的に実施していくためには、維持管理費の削減、適正な料金設定など総合的に取り組み、修繕必要箇所を見極めることで経営の健全化、効率化を目指していきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。